



女性バス運転手募集



大分市内の路線バスを運転している大分バスの運転手・高橋里奈さん。大分市金池町の大分バス金池ターミナル

県内各社、環境整備に力

県内のバス事業者が女性運転手の採用に力を入れて

いる。業界の人手不足が課題となる中、働きやすい職場づくりに取り組むながら人材確保と定着を図っている。各社ともまだ人数は少なく、今後も増やしていきたいと考えた。

大分バス（大分市）は2019年から継続的に採用し、5人の運転手がいる。タクシー運転手から転身した高橋里奈さん（45）は「子どもの頃、バスを見てかっこいいと思った。憧れの仕事だった」と笑顔で話す。

昨年入社した大井愛子さん（41）は父がバス運転手だった。「女性が運転している姿を目にして、自分もチャレンジしてみようと思った」と振り返った。

同社は18年から毎年、女性限定の会社説明会を開いて気軽な参加を促している。「新たな人材を確保するには挑戦しやすい環境が



大分バスに昨年入社した大井愛子さん

必要と考えた」と菅本栄司人事課長（63）。営業所に専用の休憩所も設けた。

亀の井バス（別府市）は3人がハンドルを握る。「家庭と両立できるよう、勤務体系は可能な限り希望に応じて」と総務課。大分交通（大分市）は1人が在籍している。

バス会社や県バス協会には利用客から「運転が丁寧」といった声も寄せられるという。週に数回、通院のためにバスに乗る大分市上宗方の主婦日野ふさえさん（63）は「優しい雰囲気がある。もっと増やしてほしい」と歓迎する。

協会によると、女性運転手はこの10年間で全国的に増加傾向にある。脇紀昭専務理事（70）は「興味のある人は各社の説明会などに足を運んでほしい」と述べた。

（松尾祐哉）

大分合同新聞 2023年6月14日（水）朝刊 20面

〔問①〕 現在、大分バスと亀の井バスそれぞれには女性のドライバーは何人いるだろうか。

大分バス 人 / 亀の井バス 人

〔問②〕 両社は女性のドライバーを増やすために、どのような取り組みをしていますか。

〔問③〕 他にも近年、女性の活躍が増えている仕事はどのようなものがあるだろうか。